

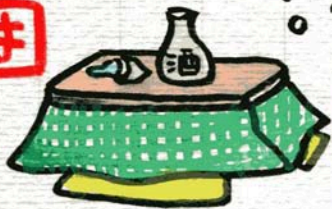
43キと言う若さで20年前に他界した父。お酒が大好きだったね。

そくなる前夜コタツに入り

酔っぼらいながら私に「そこに座れ」と言ったけど、私は「やだね、忙しいんだよ」と言い部屋へと去ってしまっただ。

翌朝起きると、父はコタツの中で、そくなるでいました。一人さびしく……。あの時もっと素直に相手になっても、あぐれば良かったと……。今でもコタツを見ると、思い出します。

「お父さん、ごめんねさー」



は